

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス新川崎		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日	~	2026年1月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年12月1日	~	2025年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月8日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柔軟な支援プログラム	ひとりひとりの課題に対して、様々な方向からアプローチしていくけるよう柔軟な発想を心がけている	より利用者本人の発達段階の理解と把握（評価）ができるように勉強会や研修を行う
2	個別の課題への対応力	利用者本人、ご家庭からの困りごとや課題に対する相談やニーズにすぐにアプローチするよう心がけている	より保護者、利用者本人からのニーズを汲み取れるよう話しやすい環境つくりを図る
3	公共交通機関を使った外出イベントを多く行えている	将来的に自立した社会参加としての余暇活動や、外出が楽しみになるよう利用者本人の興味の幅や知識が広がるような外出先にしている	より利用者本人の出来たに繋がるよう、地域生活に密着した外出先や公共交通期間を利用するプログラムを作成する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催など、保護者同士で交流する機会を設けたり提供することができていない。	保護者が参加しやすい土曜日は通常営業をしており、同様に参加しやすい日曜日祝日は開所をしていないため開催する為の日程の確保が難しい。	土曜日のイベントにより保護者の方が参加しやすい内容のイベントを企画し、参加しやすい環境を作っていく。
2	地域の方との交流や、地域の他の子どもとの交流の機会が減っている。	コロナで中止になってしまった以前まで参加していたイベントが立ち消えになってしまったり、イベントに参加できる人数の制限を設けられていたりと、地域交流の機会自体が減少している。	自事業所のイベントで地域の方により参加してもらえるよう、企画するとともに情報を発信していく。
3	重度肢体不自由の方の受け入れが制限されてしまっている	事業所がバリアフリー化ではない為、教室内を車いすでの利用やトイレ介助等のスペースを取ることが難しい状況のため、曜日や時間を制限して利用してもらっている	特にトイレ前位にある洗面台のスペースに段差があり、バリアフリー化を目指している